

4月号

第二回古典の日文化基金〔未来賞〕受賞

宇治っ子朗読劇団☆Genji



子供たちから子供たちへ 語りつがれる古典

〔受賞理由〕

「古典の日に関する法律」の制定を記念して、宇治市文化センターにおいて『宇治十帖』の舞台である宇治市の小中学生・高校生により結成された。日本の誇りであり日本を代表する古典『源氏物語』を平安装束に身を包み役柄を分担して演じる朗読劇で、「定例公演」や「kyoto演劇フェスティバル」など市内外のイベントで練習成果を発表し、広く市民に親しまれている。これからも次世代の子供たちに楽しく古典の魅力を伝えていって欲しい。

宇治っ子朗読劇団☆Genji

「子ども達が伝える源氏物語」

みなさん、こんにちは。宇治っ子朗読劇団☆GENJIの赤沢 桜です。入団7年目の高校1年生です(26年3月現在)。

私たち宇治っ子朗読劇団☆GENJIは、難しいと敬遠されがちな『源氏物語』を、わかりやすく楽しい朗読劇を通してお伝えしています。今年で15年目を迎えました。

「源氏物語」と聞くと、「難しそう…」というイメージを持たれる方も多いかもしれません。しかし、現代の言葉で朗読劇をご覧いただくと、物語に描かれている人の想いや関係性は、今の時代と大きくは変わらないのだと感じていただけたと思います。

初めて参加し、源氏物語についてほとんど知らなかったメンバーも、練習を重ねるうちに物語への理解を深め、本番を迎える頃には“源氏物語博士”になっていることもあります。

宇治っ子朗読劇団☆GENJIの魅力は、年齢や学校を越えてメンバー同士の仲が良いことです。お互いの演技を間近で見ながら刺激を受け合い、切磋琢磨しながら成長しています。

また、メンバーの多くは朗読劇未経験からのスタートです。年上のメンバーや同世代の仲間とともに稽古を重ねることで、少しずつ自信をつけ、美しく言葉を届けられるようになっていきます。本番が近づくと、平安装束を身に着けて練習する機会も増えてきます。最初は裾の扱いに戸惑ったり、重い衣装に疲れてしまったりすることもあります。互いに教え合いながら練習を重ね、美しく装束を着こなせるようになっていきます。

もし少しでも興味をお持ちいただけましたら、ぜひ私たちと一緒に源氏物語を学び、その魅力を伝えてみませんか。

宇治っ子朗読劇団☆GENJI
赤沢 桜



練習の様子



小学3年生から高校3年生まで、約20名を募集し、毎年メンバーが入れ替わる宇治っ子朗読劇団☆Genji。

初めて顔を合わせるメンバー同士、戸惑いや不安を抱えながらのスタートですが、3月の定例公演という一つの目標に向かって、力を合わせて歩んでいきます。

練習を重ねる中で、互いに支え合い、少しずつ自信をつけ、確実に成長していく子どもたちの姿には、毎年心を打たれ、感心させられています。

今年度は15周年の節目を迎え、卒団生も出演する記念公演の開催を予定しています。

これまでの歩みと新たな挑戦が詰まった、特別な一年となります。

宇治っ子朗読劇団☆Genji事務局担当 筒井真実

宇治っ子朗読劇団の活動について

◆宇治っ子朗読劇団☆Genjiの活動は、各SNSで更新中◆

Instagram : https://www.instagram.com/ujikko_genji/

◆劇団員募集 応募期間 令和8年9月初旬～中旬を予定(7月頃ホームページ・Instagramでご確認ください)

◆第15回記念公演 令和9年3月(予定)

◆第14回定例公演を鑑賞して/ご報告(古典の日絵巻担当者より)

令和8年3月15日宇治っ子朗読劇団☆Genji 第14回定例公演を鑑賞させていただきました。これまでに何度も舞台に立っている少し余裕が感じられる先輩、初舞台で緊張いっぱいだけど、一生懸命に大きな声で朗読する小さなメンバー。何よりもみんなとても楽しくこの朗読劇に取り組んでいることが演じる姿から伝わってきました！源氏物語を崩すことなく創られたストーリー。笑いを誘うユーモアにあふれた場面も盛り込まれ、あっという間の時間でした。次回の記念公演まで少しお待ちいただかなくてはなりません、その時には皆様ぜひ足をお運びください。お薦めの舞台です！

